

三重・森本まちづくり八策 説明会開く

～ めざす姿(将来像)の共有 ～～ 元気なまちづくりへ 49 人 ～



▲三重公民館で開いた説明会。三重の各組織・団体役員など 26 人が参加 (R6.11.5)

▲森本公民館で開いた説明会。森本の各組織・団体役員など 23 人が参加 (R6.11.11)

【参加団体】… (28 組織・団体)

〔三重〕 三重区、三重公民館、三重農事組合、三重・農地・水環境活動組織、三重村づくり委員会、三重未来クラブ、三重神楽保存会、三重婦人会、三重社会福祉会、小学・中学 PTA、三重子供会、消防団、自主防災会

〔森本〕 森本区、森本公民館、森本農事組合、森本環境向上組合、京丹後森本アグリ(株)、森本村づくり委員会、森女の会、いしづえ会、森本福祉委員会、PTA、子ども会、消防団、自主防災会、

〔里力〕 まんぐるわ三重・森本、若者プロジェクト、地域づくり推進委員会

2 年余りをかけ策定した第 2 次三重・森本地域づくり計画 (三重・森本まちづくり八策) (R6.3 全戸配布済み) の説明会を、三重と森本それぞれの公民館で開きました。

三重と森本のめざす姿 (将来像)

みんなが楽しく暮らす 豊かな自然の郷 (さと) づくり

～～ 人がつながり 人と地域がつながる ～～

と、そのめざす姿を達成するため定めた「まちづくり八策」を理解し、それぞれの組織・団体で共有し、出来ることから取り組んでいこうというのが狙いです。

三重と森本合わせて 28 団体、延べ 49 人が参加。とくに女性の姿が目立ち、それぞれの想いや希望、夢などを語る有意義な集まりになりました。

地域を想う気持ちをまとめました (裏面)

参加の組織・団体の皆さんに対して、次の 3 項目のアンケートを行いました。

① 説明会・意見交換会に参加した感想

② 第 2 次三重・森本地域づくり計画で感じたこと

③ まちづくり八策「めざす取り組み」の中で団体として取り組めそうなこと

いただいたすべてのご意見を、順不同で裏面以降に載せましたのでご欄ください。地域への想いや元気な地域 (まち) にしたいという強い願いを改めて感じました。

もっやもっや
いい地域(まち)にしよう

① 説明会・意見交換会に参加した感想

- ていねいに説明してもらいました。説明の内容が良かった。
- 里力から各団体に「八策」を説明して受け入れていただきたいというより、各団体への要請が目的のように受け取られている方もあったように思います。そのためか、地域活動を里力が主催する等全面に出て活動をしてはどうかという意見もあったと思いますし、里力に期待されている部分もあったと思います。また、これまでから役員の中でも里力の存在や活動が地域に知られていないという意見もありました。里力として「八策」実現のため、またより地域に根ざした組織として地域の方とともに活動するために、三重・森本で現在ある行事でもいいし、新たな取り組みでもいいので積極的主体的に関わる活動を増やすべきではないかと感じました。
- 推進委員会で策定した「八策」について、区と諸団体とは同列でないので、森本区として受け止め、区長を中心にどう具体化するかではなかったかと思った。
- たくさんの方が集まった。特に女性が多くびっくり。地域を良くしたい、元気な地域になることを望んでいる人が多いと感じた。
- 誰しもが数年後の状況を切実に感じ得ないため、緊迫感が全くなく、仕方がないのだろうけど、こういう機会をもっと多く持つべきではないのか？
- 説明会の中で、出席者から色々な意見や思いが発表されて有意義だった。
- 三重・森本のみんなが温かみを実感しながら幸せに暮らしていけるようにと考えて動いてくださっている方々の思いに触れることができ、ありがたいなあと思いました。私は三重に嫁いでから「いいところだなあ」と思いながら住ませていただき、娘たちにもそう伝えながら過ごしてきて、三重が大好きな子に育っているように思うので、これからも自分にできる協力をしながら楽しく人と繋がっていきたいです。他の団体の方の活動内容やお話、意見が聞ける良い交流の場になったと思います。
- 今まで何となく過ごしてきた中で、皆さんの意見を聞きそのような問題があったのだと気づかされました。ふだん気にしないことを感じることでできる説明会の場は重要だと思いました。
- 今回は初めてだったので顔合わせという感じなのかな？と思いました。兼務の方が多くて負担も大きいのではと感じた。若い世帯は忙しく、いろいろ参加するのも大変だと思いますが、楽しく出来たらよいと思う。
- 少子高齢化・過疎化の進行の中、地域づくりに向けて三重・森本両区協働でこのような話を進めていることに感謝いたします。今、率直に思うことは子どもの少なさにさみしさを感じていることです。少なさには少なさにできることや、やりやすいことももちろんあると思いますが、これまでの人数で実施されてきたことを継続していく難しさもあります。私自身、高齢者と接する仕事をしていることもあり、子どもからお年寄りまで、幅広い層の思いをそれぞれの住みやすさ、守りたいものを考える時間となりました。
- やらなければならぬことがいっぱい、役員の皆さんは大変なことだろうと思いました。
- 地域づくりの活動の内容を自分自身かなり出来ていなかったこともあり、大変勉強になりました。人それぞれ考え方も違うので意見の食い違いも多いと思います。
- 「三重・森本まちづくり八策」をじっくり読んで考えることのできる機会になりました。ありがとうございました。配布された資料をよく読んでいなかったもので、読み合わせのような説明会で内容がわかり良かった。ですが、もっと個人、一人ひとりの普段感じていることなどが話せると良かった。5〜6人ずつ輪になって、それぞれの輪で話をして記録が要るならボイスレコーダーを使うなどしたらよいかもしれない。女性も多く参加していたので、声が聴けず少し残念な気がした。会議はもう少し遊び心があると打ち解けるように思う。例えば、「今回は赤の会議にします。皆さん赤い服で参加してください」とか。
- 今の森本の取り組みは、森本の私たちが生活していく上で、とても生活しやすい取り組みになっていると思います。欲を言えばキリがありませんが。「森本アグリ」は区民のために頑張ってくれています。軽トラ朝市の実施や環境向上組合などの取り組みもあり、良い方向に進んでいると思います。今後、高齢化の進行や人口の減少などが起こってきますが、その都度人と地域のつながりを深めていくことで、住んでよかった村づくりへと繋がるように日々前へ進んでいくよう一人ひとりが意識していくことが大事だと思います。その意味でも、普段から隣近所での話し合い、意見交換などを意識していくことが大事だと思います。隣近所が良ければ笑顔が絶えないような取り組みに向けて、普段から何でも言い合えるような良好な人間関係を築いていくことが大事だと思います。
- 三重をどうしていきたいのか方向性が定まっていなかったように思う。女性が発言しづらそうだったので、男性と女性に別れてもよかったのでは。
- 色々な方の意見を聞くことができ良かったと思います。
- 今回参加された団体の方々は、里力の取り組みをある程度理解されていると思いますので、他の区民の方に、どのようにして伝え共感していただけるかの取り組みも必要に感じました。
- 参加者からの発言にありましたように、各団体やグループのしている活動は、副次的に色々な角度から関わっていることが多いです。神楽保存会では、子どもが参加しているけれども、逆に接点のないグループ、カテゴリーもあります。男性の若い人から高齢入り口位の方は、女性、本当の高齢の方との接点は少ないと思います。そのあたりを意識して、今後も今回のような意見交流・情報交・交流の機会があればよいのかな。

- 思ったより多くの参加があり良かった。せっかく参加してもらっているので、一人ひとりの思いや考えを出してもらえたら良かった。（全員の声が聞きたかった。）
- 区長の顔がなかなか見えてこない。推進委員の中に区長も入っているのもう少し意識し提案でも前に出てきてほしい。いろいろな人の意見が聞けてよかった。アンケートにより、地域づくり計画（八策の目指す取り組み）を出していただき分かりやすかった。

② 第2次三重・森本地域づくり計画（まちづくり八策）で感じたこと

- これから人口が減少していく中で、各団体で行事等の精選を行う必要がある。これからは色々なことをやるよりも、今やっていることの内容に変化をもたせたり中身を充実させることが大切である。
- 三重・森本で地域づくりと一緒にしていくのはとても良いと思います。
- 地域づくり委員会が策定した「八策のめざす取り組み」を念頭に置き、取り組みを実施するのは各地区の諸団体。引っ張って行くのは里力の地域づくり委員会？それとも区長？諸団体？ではおかしいですね。
- 地域のめざす姿がはっきりした。住民みんなで共有できたら素晴らしい。みんなで出来ることから進めていきたい。
- 両区民の方々に、八策を通じて人口減少は基より本当に対策の糸口を考え話し合い、一歩でも前に進めたらよいと思う。様々な地域づくり計画がされているが、その中でできる事柄から少しずつでも実行していけたらよいと思う。三重と森本は、隣同士で昔は小学校も一緒になじみがあり、何をやるにしてもまとまりやすいと思う。
- 娘夫婦が帰ってきてくれて孫もできたばかりで、三重の皆さんが喜んでくださり嬉しいです。若い人たちが帰ってきたくなる三重。帰ってきた子たちが負担を感じないような三重。今生まれた子たちが、三重が大好きになるような三重。そこで祖父母世代も安心安全に過ごせる三重になるような具体的な計画を八策として形にしてもらっているので、実現されていくこと望みます。行事や祭り等、若者が減少してきているので形を変えながら行っていく必要があると思った。役員が重なっている方が多いと感じた。団体を統括する必要があるのではないかと思った。
- 策8「高齢者にやさしいまち」の地域交通の整備をすすめるという取り組みが子どもたちの通学にも関わっていくという考えが今までなく、今回の説明会の場で気づきました。一つひとつの策が地域全体につながり計画の実現に向けていければと思います。
- いろいろ計画を立てても参加してもらうのは難しいですね。
- めざす取り組みの中には、すでに取り組んでいるものもたくさんありました。しかし、団体や担う役割の多さが個人に負担になっている（どうしても頑張ってくれる人は片寄りが出るので）ことが心配です。説明会出席者の方も2つ3つの兼務が当たり前状態でした。取り組みを頑張る分減らす分も考慮しすすめていけたらと思いました。
- 里力再生協議会が主体で活動されているというPRをはっきりと伝えてほしい。八策は本当に行き届いた内容になっていると思います。
- 地域の目指す姿は本当に素晴らしいこと。それを実現させることに気が遠くなることも事実です。
- 今まで地域でされてきたことを8つのカテゴリーに分けて示されているので分かりやすいし活用しやすい。三重小や第三小学校、三重保育所で同じ時間を過ごしてきた今の20歳以上の人は、三重と森本のつながりはとても強いのですが、それより若い人はどうなのかなと思います。「2040年」にも今のような三重と森本の関係が残るようにできればと思います。
- 計画を持つことは大事だと思います。三重・森本はブログもまめに更新しているしすごいと思う。都会の人や元三重・森本の人の心に引っかかるような切り口で地域の行事や出来事を紹介していくと良いと感じました。
- 現状維持だけでもギリギリだと感じた。活動してくれている方々に感謝しかない。
- 真剣にみんなで将来を考えることができて良かった。
- 三重・森本両区合同のイベントを開催するなど、まず区民同志の親睦を深めるための取り組みが必要だと感じました。
- 里力協議会と区が両輪となって前に進んでいくことが大切であると思う。そのためお互いに寄り添いながら里力の役員と区役員が話し合いを深めることが大切だと感じた。お互い協力しながら具体的な話をし、出た意見の一つでも実践できたらと思う。「里力の動きが見えていない。」という意見もあったが、以前よりは少しずつ見えてきているようにも感じる。里力は何がしたいのか？八策を具体化すること。里力の会議に参加している者はそれなりに分かるが住民には見えていない。届いていないのか？私たちが安心安全に楽しく暮らせる地域という目標は、どなたも思っていることだと思う。暮らしやすい地域にするために何が出来るか集まって話すことで、一人では思いつかないことも可能性が広がる。それぞれの団体が目標を持ち、互いに協力できることができればよいと思う。地域外で暮らす出身者の声や思いを聞く機会があればどうか。

③ まちづくり八策の「めざす取り組み」の中で団体として取り組めそうなこと

- 最近、全国で災害が多く発生しているので、「策2」の安心安全について取り組まねばと思った。特に三重区は避難できる安全な施設がないので、緊急な場合に各自がどのような行動を取るのか、

意識を高めたり、避難が困難な人に対して、区が具体的に示しておく必要があると思った。

- 八策はとても良いと思いますが、まずは実現できそうな策1「子どもたちがのびのび育つまち」・策2「住民が安心安全に暮らせるまち」を重点的に取り組んだほうが良いと思います。
- 住んでよかった。これからも住み続けたい地域を目指す月1回以上の活動を通して地域住民の交流と親睦、健康維持・増進のための取り組みとして、新型コロナ流行以前の活動の復活。歩こう会、グランドゴルフ大会等。さらに、おらが村の名所・旧跡めぐり、ウォーキングコースの設定など
- 荒地、不耕作地の解消。草刈り隊による定期的な草刈り。農道・水路など農業用施設の整備。
- 農地を守るため頑張ります。
- ①生物多様性米「ゲンゴロウ郷の米」で仲間を増やす。②獣害対策にワイヤメッシュ柵を設置する、獣害対策の取り組み
- 婦人会としては、ゴキブリ団子作り、公民館掃除を続けていけたらと思います。文化展の作品作りで協力もしたい。会員相互のコミュニケーションが図れる工夫もして、仲良く楽しめていると感じます。新会員に加入してもらうことがとても難しく、人数減は大きな課題です。ネットワークを広げながら上記の取り組みが続けていけるといいなと思います。婦人会の活動のゴキブリ団子作りは策2「住民が安心安全に暮らせるまち」に、公民館のトイレ掃除や年末の掃除は策3「人がつながり支えあうまち」に当てはまる活動だと思ったので今後も継続していきたい。
- 私としては、三重と森本の合同運動会がとても楽しい思い出です。子どもたちと地域の方々とふれあいやつながりが出来る取り組みだと思いましたので、ぜひ。
- 空き家活用は興味があります。いい家がいっぱいあると思う。住んでもらうだけではなく、例えばお店（貸店舗）、カフェ、直売所、イベント会場などのようなものでも良いと思います。
- 子どもたちは地域活動に積極的に参加することで、地域の良さを体感していけるよう今後も参加を継続します。大学生の交流等も貴重な経験です。「ゲンゴロウ（生き物）とのふれあい」も貴重な経験です。そして、子どもたちが安心して外で遊べる環境づくりが出来ればうれしいです。せっかく乗れる自転車で、川等遊びに行けるような地域になれば良いなと思っています。
- 何をしても人手が足りなくて皆さん悩んでおられることなのでしょう。私は今やっていることを続けるのが精一杯です。
- 策3の項目の「人がつながり支えあうまち」が大切
- 現在の活動はコロナ以降「花いっぱい運動」だけになってはいますが、八策を具現化できるよう心がけます。（抽象的な言い方になってしまいましたが・・・）
- 三重グラウンドはもっときれいに集える場所になると良い。できれば、建物とフェンスは取っ払い、雑草を短く刈り込んで芝生グラウンドみたいになると良い。地面がガタガタなのでロードローラーで固めてほしい。川遊びが好きで子どもとよく行きました。柵で降りにくいのと草だらけで遊びにくい。川に入りやすく安全な状態に管理できると良い。カブトムシ増産計画、水辺の生き物増産計画。普段感じるのは、外に人がいない。防犯のためには、住民がウロウロして、知らない人が来たら「どちらさんですか？」とすぐあいさつ、声かけすれば悪い人は来にくくなると思う。道沿いに所々U字溝の裏返しでも置いてすぐ座れるようにするとか、ベンチ・イスを増やす。BBQスポットを作るなど、少なくなる人口を外に呼び出すポイントづくりがあると良い。
- 消防団としては今までどおり安心安全な村づくりのために活動をしていく。出来る範囲で地域活動に参加していく。
- 住民が安心安全に暮らせるまちは消防団として取り組む必要があると思います。
- 森本に広場を作る取り組みを広めていければいいなと思います。子どもから大人たちのふれあいの場となり地域活性化にもつながると思います。森本で子育てがしたいと思い、帰ってきてくれる方が少しでも増えるきっかけにもなると感じます。
- 地域感謝祭を通して「まんぐるわ」の活動を少しずつ地域の皆さんに知ってもらいたいと今年で2回目が開けた。この取り組みは地域を元気にするために今後も継続していきたい。森本地区福祉委員会、森本アグリから丹後のばら寿司やぼた餅の注文がありとてもうれしく思っている。今後も取り組んでいきたい。三重・森本地域の女性が、「まんぐるわ」に入らなくても「この時は協力するで」といつてもらえる人を増やし、次の世代にバトンを繋いでいきたい。そうできたら最高である。課題は、後継者をどう育てるか。一人ひとりが本気になって取り組んでいくこと。どれだけ本気になれるのか。「まんぐるわ」も会員の年齢が高齢化していくので、今までの事業を維持していくのが難しい。協力会員を増やしていきたい。



ライドシェア試験運行車に乗りメインハ

4月からは始まる新しい交通手段「京丹後公共ライドシェア」試験運行を開始し、昨年12月25日、ライドシェアのお買い物ツアールに行きました。運転免許がない学生や高齢者などに呼びかけられたもので、1126人（三重県人112人）が参加し、感想や改善点をまとめた。京丹後市へ伝え、1月14日、市役所へ要望に行っていました。